

① 重点事業

(1) 道の駅

地域の農商工業を元気にするのが目的 4月27日開業
産直レジ2,000人超/1日、レストランレジ1,000人/1日
現在は、町内の農産物が少なく、他地域から買い入れている状態
町内における農産物の増産、6次産業化が急務

(2) 少子定住化対策

医療費助成の拡大 18歳まで医療費無料化(8月予定) 現在は15歳まで
働く場の創出 企業誘致の推進
道の駅は20名超雇用
旧延年荘を浄土の館(簡易宿泊交流施設)に改修
上野台住宅4号棟予定地(2,600㎡)の活用
定住化促進宅地 旧泉屋住宅跡地分譲 3区画子育て世代、1区画移住
今年度も推進
婚活の推進 Iサポいわて(コンピューターマッチングシステム)の
登録費用助成

(3) スマートインターチェンジ

平成33年春に開業予定 1,100台の駐車場を設置
開業とともに周辺農地は1種農地から除外
秩序ある開発推進計画を策定中



道の駅のオープンを待つ大勢の来場者(4/27)

②

社会教育施設の整備方針

社会教育施設は、本町における人づくり、まちづくりにとって非常に重要な施設です。町では、今後この整備方針に沿って施設整備を進めて参りますが、できるだけ多くの町民の皆様からご意見を頂戴したいと考えておりますので、町民の皆様のご理解とご協力をお願いします。【担当課:まちづくり推進課】



など

【町の社会教育施設の現状】

◆体育館◆

- 平成22年、老朽化により町立平泉体育館を解体
- 現在は、町立長島体育館と学校体育館合わせて4施設を利用
- 解体以降は、利用制限や利用調整などを実施
- 学校体育館を子どもたちが優先利用できない

◆公民館・図書館◆

- 公民館は昭和41年の建築から50年が経過
- 図書館は昭和44年建築の旧郵便局舎を平成8年に改築し47年が経過
- 両施設とも老朽化が著しい
- 生涯学習の拠点としての機能が乏しい
 - 公民館：多様な学級スペースがない
活動ニースにあった設備等がない
バリアフリーに対応していないーなど
 - 図書館：閉ざされた学習スペースがない
閉架書庫がない、蔵書スペースが狭い
平泉らしい蔵書がないーなど

- 図書館の立地は良い

◆文化ホール◆

- 芸術・文化活動は現在、平泉小学校体育館及び平泉文化遺産センターふれあいホール等を利用
- しかし、音響や照明などの設備が不十分
- 会場準備にかなりの労力が必要（特に女性団体等）

【注①】PFI等とは、公共施設等の建設、維持管理、運営等を民間の資金、経営能力及び技術的能力を活用して行う手法で、町の事業コスト（財政負担）の縮減や、より質の高い公共サービスが提供できるなどのメリットがあります。

◆施設の整備方針◆

下記のとおり優先順位を付して施設を順次整備していきます。

【優先順位及び概要】

① 公民館・図書館（・文化ホール）（併設）

- 老朽化が著しく代替施設もないため、優先的に整備
- 平成29年度に、建設に向けた検討（施設の規模、建設場所など）を開始し、建設年度を含めた建設計画を決定
- 建設にあたっては、助成制度や起債の活用のほか、PFI等（注①）も検討
- 生涯学習・地域コミュニティ形成の拠点として、誰もが行きやすい施設として整備
- 公民館と図書館を併設し、小ホール的なスペース（300席程度）の設置も検討
- 建設場所は、町中心部を検討

② 体育館

- 当面、長島体育館及び学校体育館の計4施設を利用調整しながら活用
- 建設及び運営にあたっては、PFI等の活用を目指す
- 平成29年度に、建設に向けた検討（施設の規模、建設場所など）を開始
- PFI等の活用が見込めるなど、整備可能な条件が整った場合は早急に整備
- 建設場所は、町内全域から検討

③ 文化ホール

- 公民館・図書館及び体育館の建設を優先し、今後の課題として検討
- 芸術・文化活動は、当面、これまでとおり平泉小学校体育館などを活用
- 将来的には、300人規模までは新公民館・図書館併設のホール、500人規模までは平泉小学校体育館、500人超は新体育館などの使い分け
- 当面、平泉小学校体育館の照明・音響設備等の整備を検討

③ 目指すべき姿



30年度中尊寺通り完成 32年度無量光院跡整備完成
 32年度スマートインターチェンジ完成
 住民も観光客も公共交通で周遊するまちづくりの完成

* 今後のまちづくりには、皆さまのご協力とご理解が必要です。よろしく
 お願いいたします。